

【日本国際政治学会関東地区院生研究会 & 国際関係思想研究ネットワーク第8回研究会】
「開発とデモクラシー：新自由主義グローバリゼーションを超えて」報告者募集のお知らせ

日時:2009年10月3日、10:00-18:30

場所:明治学院大学(白金キャンパス)、2号館2102教室

共催:国際関係思想・研究ネットワーク、日本平和学会「環境・平和」研究会、日本平和学会関東地区研究会、
日本国際政治学会関東地区院生研究会、明治学院大学国際平和研究所(PRIME)

タイムテーブル

10:00-12:00:院生研究会報告

13:00-14:45:若手報告(1人15分程度(+ 討論が続く))

15:00-18:20:パネル報告(途中休憩、総括討論含む)

18:20-18:30:閉会

午前(10:00-12:00)の部・午後(13:00-14:45)の部、2つのセッションの報告者を募集します。
研究会の概要、応募方法は以下をご参照ください。

【概要】

本研究会は、今日の国際開発政治の限界を批判的に検証していくことを目的とする。第二次世界大戦後の国際開発体制は、国連憲章に宣言されている「世界の諸国民の経済的・社会的進歩」を実現するために、戦勝国の米国と国連機関の主導の下で組織された。以後、1949年のトルーマン米大統領のポイント4演説に象徴されるように、戦後の国際社会において「開発」(development)という言葉は、先進工業社会の途上国に対する経済・技術援助に基づいたソーシャル・エンジニアリングを意味するようになり、途上国の発展政策をサポートする政策科学として開発学という学問分野も生まれた。

1980年代に国際開発政治と開発学は大きな変化を経験した。第一に、政策現場において、1970年代までの国家主導型の経済発展政策の限界が指摘されるようになり、世界銀行とIMFが中心となって新古典派経済理論に基づく構造調整政策が推進されるようになった。これによって国際開発政治は英米主導で展開する新自由主義グローバリゼーションの流れに組み込まれるようになり、途上国の市場経済化が加速化した。第二に、開発学においては二つの相反する動きが見られるようになった。従来の国家主導型マクロ開発理論が正統性を失う中で、一方では米国シカゴ大学出身の新古典派エコノミストたちを中心に開発政策が運営されるようになり、他方でアカデミアの中では、アクター中心社会学、開発の人類学、カルチュラル・スタディーズ、ジェンダー・スタディーズ、ポストコロニアル理論、ポストモダン地理学といった批判理論の数々が、国際開発研究のオルタナティブな理論として流通するようになった。その結果1990年代以降、フェミニズム、反開発運動、インフォーマルな経済実践、グローバル・ジャスティス運動などの様々な草の根の社会運動が開発学における重要なトピックになってきた。

このことは、米シアトルの反WTOのデモンストレーション(1999年)、ジュビリー債務帳消し運動(1996年2000年)、その後の世界社会フォーラムやトレード・ジャスティス運動などの影響で、新自由主義的な開発政策の限界が市民社会と政策現場の双方で議論されるようになり、新自由主義に替わるオルタナティブな開発パラ

タイムや、(あるいはより急進的な集団の中では)開発に替わるパラダイムを求める声が俄に高まっていることの反映でもある。

そして昨年秋の米国の金融バブル崩壊が引き金となって始まった世界的な経済危機に対し、一方で国家(states)に基づく統治の復活に期待をこめる人々が勢いづく中で、新自由主義的なグローバル化とも、国家中心の統治とも異なる、文字通りオルタナティブな新しい国際経済の複数の可能性を見出す「構想力」がますます必要となっている。多様な対抗実践を各地の現場に見いだしつつ、既存の構造を再生産することのない『改良』という意味での、「非改良主義的改良」へむけた、生存をかけた「サブシステム志向」の可能性について、今日の開発の民主化の動きを踏まえながら議論していきたい。

【応募方法】

次の のセッションの報告者を募集いたします。応募の際には、お名前・ご所属・報告タイトル・報告要旨(A4一枚程度)とともに、 どちらのセッションでの報告を希望されるのかをご明記ください。

10:00～12:00 日本国際政治学会 関東地区院生研究会報告者2名(予定)

【 jair.inseiken@gmail.com 】に、上記の必要事項を添えてお送りください。

応募締切日 8月6日(木)

ご報告をお願いする方には、8月14日(金)を目途に個別にメールでお伝えするとともに、日本国際政治学会HPにて告知させていただく予定です。ハンドアウト提出は、9月25日(金)締め切りとさせていただきます。

後半の共通テーマ「開発とデモクラシー」に関わらない報告も広く歓迎いたします。

13:00～14:45 共通テーマ「開発とデモクラシー」に関する若手報告者2名

【 irp_net@yahoo.co.jp 】に、上記の必要事項を添えてお送りください。

応募締切日 7月23日(木)

ご報告をお願いする方には、8月7日(金)を目途に個別にメールでお伝えいたします。ハンドアウト提出は、9月18日(金)締め切りとさせていただきます。

* と で締切日・応募窓口が異なりますので、ご注意ください。 と で応募窓口を分けておりますが、万一の間違いを防ぐために、応募の際には、 どちらのセッションでの報告を希望されるかをご明記ください。

応募に関してご質問がございましたら、
それぞれの応募窓口のメールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。

皆様よりのご応募を心よりお待ちしております。